

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	環境保全一般事業(生活環境課)			事業コード	520121						
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生き、次世代につないでいくまち		政策目標	3 自然と共生する地域空間の形成						
	施策名	1 豊かな自然環境の保全と活用		施策コード	231						
事業担当	所属	05050000 市民総務部 生活環境課		所属長	四方 幸生						
会計情報	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	05 環境保全費	会計	01 一般会計	決算附属資料	168	頁
計画期間	開始年度	平成16年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-		R5現在の状況	継続中		
根拠法令等	環境基本法、公害紛争処理法、騒音規制法、悪臭防止法、水質汚濁防止法、福知山市附属機関設置条例										
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	-										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	市民、事業者の環境意識を高めることで環境公害等を未然に防ぎ、環境保全の進んだまちとする。環境公害発生時には、その対策を行い、市民の公害に対する不安を解消する。										
対象者	全市民	対象者数	75,948	単位あたりコスト	0.1						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	一般社団法人京都微生物研究所、株式会社環境テクノス、ダイワエンジニアリング株式会社播磨分析センター										
事業概要 (箇条書き)	・環境パーク施設見学、その他啓発活動を行い、市民・事業者の環境保全意識を高める。 ・公害苦情発生時に現地調査、発生源への指導等の苦情処理を行う。 ・事業所の公害発生施設設置届出を受理するとともに、必要に応じて法令に基づく指導を行う。 ・市内で大気汚染、水質汚濁、悪臭公害が懸念される地域において環境測定を行い、状況を監視する。 ・騒音規制法第18条に基づき、市内幹線道路の代表的な地点の騒音測定を行い、道路を走行する自動車の運行に伴い発生する騒音に対して道路に面する地域の騒音レベルを把握する。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)	主な業務内容								
	旅費	22	研修・普通旅費								
	役員費	17	騒音・振動レベル計用レベルレコーダ検査料								
	委託料	1,299	環境(騒音・大気・水質)測定委託、中小河川水質検査業務、自動車騒音常時監視面的評価業務								

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	3,085	2,080	2,720	1,587			
	② 補正予算	0	0	0	0			
	③ 繰越予算	0	0	0	0			
	前年度繰越	0	0	0				
	次年度繰越	0	0					
小計(①~③)	3,085	2,080	2,720	1,587				
予算財源内訳	① 一般財源	3,085	2,080	2,720	938			
	② 国支出金	0	0	0	0			
	③ 府支出金	0	0	0	649			
	④ 地方債	0	0	0	0			
	⑤ その他特財	0	0	0	0			
決算情報	① 流充用額	0	0					
	② 配当予算	3,085	2,080					
	③ 執行額	1,082	1,338					
	④ 執行率	35.1%	64.3%					
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.60 / 0.00	0.94 / 0.00	/	/			
	② 概算人件費	4,800	7,520					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	5,882	8,858						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	環境保全一般事業(きょうと地域連携交付金)	種類	清掃費府補助金	実績金額	351	28	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標	
環境調査の基準値以内割合	%		100 / 100	100 / 100	100 / 100	/ 100	100	
			/	/	/	/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標	
	環境調査	件	4 / 4	4 / 4	4 / 4	/ 4	4	
		単位あたりコスト		307.5	270.5	334.5		
		単位あたりコスト		/	1 /	/		
環境保全一般事業(生活環境課)								

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 公害苦情処理は、法令に基づき行政で実施する必要がある。公害に苦しむ市民の要求に応えるものであり、優先度は高い。市民への啓発も必要である。 環境測定は、環境公害について以前より懸案となっている地域において、実施するものであり、市民ニーズに応えるものである。騒音については、国の法定受託事務である。 公害苦情処理、環境測定業務を実施 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 環境保全の啓発資材や環境対策関連会議の旅費など最低限必要な経費のみである。啓発活動は、費用のかからない施設の利用などコスト削減に取り組んでいる。 環境測定には国家資格や高価な測定機器が必要であり、業者委託が最も効率が良い。 委託価格も、市販の積算図書の価格以下であり、妥当な価格である。 環境測定業務を業者に発注 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 環境測定成果目標は、過去の実績から設定した目標である。 市が実施する環境調査にて、全て測定項目が基準値以内となることで、環境公害の発生を未然に防ぐ。 環境測定は、測定時期、場所などは、地元希望も聞きながら行っている。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 公害から生活環境を守ることは、行政としての責務であり、継続して取り組まなければならないが、市民・事業者側の環境保全に対する意識も重要であり、市民一人ひとりの実践も重要であるため、引き続き環境保全への取り組みを強めていく必要がある。 公害苦情については、法令違反を明確に確認できない事例が多くあり、強い行政指導ができず、事業者努力を促す継続案件となり、根本的な解決に及んでいないケースが増えていることが課題である。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 野焼き禁止について、市民に周知する。(自治会組回覧9月予定) 課題事例に対して、原因者、市民双方の理解を得られるよう、関係機関と連携し、環境問題の苦情の解消に努める。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	森林経営管理事業			事業コード	210104	
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代についでいくまち		政策目標	3 自然と共生する地域空間の形成	
	施策名	1 豊かな自然環境の保全と活用			施策コード	231
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課		所属長	中田 浩二	
会計情報	款	06 農林業費	項	02 林業費	目	02 林業振興費
	会計	01 一般会計		決算附属資料	188	
計画期間	開始年度	令和元年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市森林経営管理意向調査実施計画
					R5現在の状況	継続中
根拠法令等	森林経営管理法					
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()					
関連事業	-					

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	森林の適正な経営や管理が行われないと、土砂災害の防止や水源涵養等へ影響を及ぼすことが懸念されるため、「森林経営管理法」が施行され、森林の適正な経営や管理を行わなければならないこととなっている。 このため、森林の経営管理に係る意向調査等を実施し、適正な経営や管理が行われていない森林整備の促進を図る。					
対象者	森林所有者(河守・河西地区、平野・板生地区ほか)		対象者数	676	単位あたりコスト	155.8
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()					
委託先・実施主体等	アジア航測株式会社					
事業概要 (箇条書き)	森林経営管理法による経営管理実施権配分計画の作成(観音寺地区) 人工林所有者に対する意向調査の実施(室・市寺地区) 森林航空レーザ測量データ及び公図等を活用した森林境界明確化の実施(河守・河西地区) 境界明確化を目的とした森林航空レーザ測量及び森林資源解析の実施(平野・板生地区ほか)					
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)	主な業務内容			
	報酬、職員手当等	1,100	臨時職員に係る報酬、職員手当			
	報償費、旅費、需用費	101	外部有識者への謝礼及び旅費、消耗品等の購入			
	役員費	363	事業に係る文書の郵送料			
	委託料	99,963	森林航空レーザ測量及び森林資源解析業務、森林境界明確化業務			
	使用料及び賃借料	174	複写機使用料			

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	53,768	113,322	68,229	80,025				
	② 補正予算	9,116	△ 10,000	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0						
小計(①~③)	62,884	103,322	68,229	80,025					
予算財源内訳	① 一般財源	62,884	59,509	33,830	80,025				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	43,813	34,399	0				
決算情報	① 流充用額	0	△ 63						
	② 配当予算	62,884	103,259						
	③ 執行額	61,890	101,701						
	④ 執行率	98.4%	98.5%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.60 / 0.00	0.45 / 0.00	/	/				
	② 概算人件費	4,800	3,600						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	66,690	105,301							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	森林経営管理事業基金繰入(森林環境譲与税基金)	種類	基金繰入金	実績金額	26,127	決算附属資料	42	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	森林経営計画認定面積(市内)	ha	3204 / 4150	2966 / 4150	2880 / 4150	/ 4150	4150
森林整備面積(市全体)	ha	181 / 587	258 / 587	141 / 587	/ -	-	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	森林経営管理権設定地区	箇所	1 / 1	0 / 2	0 / 2	/ 3	31
	単位あたりコスト		42125.0				
	単位あたりコスト		/	3 /	/	/	森林経営管理事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	温室効果ガス排出削減目標の達成や、近年多発する大規模災害等の防災面において、森林整備が喫緊の課題とされており必要な事業である。森林整備を推進するものであり、森林経営管理法に基づき市町村が担うべきものである。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	財源として、国から譲与される森林環境譲与税を充当し事業を実施している。事業内容においては、見積取や国の単価参考資料と比較することにより、コスト削減を実施している。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	森林経営管理権を設定することで、手入れされていない森林を、市又は林業事業者が管理することになるため、市全体の森林整備面積の増加に寄与すると考えられる。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	令和3年度に選定した事業者と「経営管理実施権配分計画」を作成し、令和5年度の森林整備につなげることができた。また、室・市寺地区においては、初めて航空レーザ計測データを活用して境界の明確化を実施した森林を対象とした意向調査まで実施することができた。この室・市寺地区のノウハウを生かし、河守・河西地区(森林面積は室・市寺地区の約3倍)における森林境界明確化を単年度で実施することができた。喫緊の課題である森林整備を実施するまでに境界明確化や計画の作成など労力、時間ともに要している。		
改善策	森林の境界不明瞭の問題については、解消に対する先進事例も少なくレーザ計測データを活用した境界明確化業務を令和2年度から行っているところである。一定の経験もでき、説明会の実施方法をオープンハウス形式にすることや事前の森林精通者に対するヒアリングの実施など工程の整理もできつつあるので、この経験を活用して、他地域へ波及していく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	森林の経営管理に係る意向調査等を実施し、適正な経営や管理が行われていない森林整備の促進を図る。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	福知山千年の森づくり事業			事業コード	220401						
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち		政策目標	3 自然と共生する地域空間の形成						
	施策名	1 豊かな自然環境の保全と活用		施策コード	231						
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課		所属長	中田 浩二						
会計情報	款	06 農林業費	項	02 林業費	目	02 林業振興費	会計	01 一般会計	決算附属資料	192	頁
計画期間	開始年度	平成20年度	終了予定年度	令和20年度	関連計画名	福知山千年の森づくり基本計画		R5現在の状況	継続中		
根拠法令等	-										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	-										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	「福知山千年の森づくり基本計画」に基づき、新たな計画では、自然・歴史・伝説など様々な地域資源の魅力を発信することで誘客を図り、国定公園の価値の再発見・再定義を通じた関係人口を創出することで、自然環境の保全と地域振興へとつながり、また誘客へとつながる好循環の創出を目指し、「オンリーワン」の森林公園づくりを行う。										
対象者	国定公園来訪者数	対象者数	74,000	単位あたりコスト	0.1						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	株式会社地域計画建築研究所、株式会社レントオール福知山										
事業概要 (箇条書き)	「大江山トレイル教室#千年の森」と題し、環境教育と一体となったトレイルラン教室を実施した。今後の計画推進を円滑に行うため3カ年のアクションプランを作成した。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)	主な業務内容								
	報償費	542	トレイルラン教室実施に係る講師謝礼								
	需用費	272	トレイルラン教室実施に係る消耗品購入								
	委託料	3,239	福知山千年の森づくり基本計画に係るアクションプラン作成業務、トレイルラン会場設営業務								

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	9,183	7,260	5,222	6,462				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0						
小計(①～③)	9,183	7,260	5,222	6,462					
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	2,750	7,260	5,222	6,462				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	6,433	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	0	△ 2,915						
	② 配当予算	9,183	4,345						
	③ 執行額	8,150	4,053						
	④ 執行率	88.8%	93.3%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.50 / 0.00	0.49 / 0.00	/	/				
	② 概算人件費	4,000	3,920						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	12,150	7,973							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	福知山千年の森づくり事業(豊かな森を育てる府民税市町村交付金)	種類	農林業費補助金	実績金額	4,052	決算附属資料	30	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	国定公園への来訪者数	人	114000 / 257000	73000 / 257000	79000 / 257000	/ -	257000
	自然環境の保全・活用事業の参加者数	人	859 / -	803 / -	1300 / -	/ 1050	1240
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	千年の森づくり活動参加者数	人	23 / 146	52 / 146	89 / 146	/ 146	146
	単位あたりコスト		0.0	156.7	45.5		
	イベント(#千年の森)の参加者数	人	- / 0	5 / 0	89 / 50	/ 100	209
	単位あたりコスト				45.5		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<p>国定公園に指定されたエリアを「福知山千年の森づくり事業エリア」と位置づけ、市民と一緒に森づくりを進めるものであり、本市の自然環境保全、環境拠点となることから、市が関与する必要性は高い。</p> <p>令和4年度においては、市内の小学生を対象とし、イベントを開催し、市民の森林への関心を引くことに寄与した。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<p>トレイルラン教室においては、市直営で実施することにより経費を最小限に抑えた上で実施した。</p>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<p>国定公園を活かし、市民に対して自然環境保全、地域振興などにつなげることで、小学生などの次世代への環境教育、市民の財産である自然を保全管理していく事業であり、有効性は高い。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>基本計画を改定した初年度であり、第1弾のイベントとしてトレイルラン教室を実施し、国定公園のファンとなっていただくきっかけづくりを行った。様々なアプローチにより、より多くの方が森林に興味を持ち、持続的に森づくりに関わって下さる仕掛け作りが今後重要になってくる。</p>		
改善策	<p>様々な時代に合った仕掛けを持続的に展開するために3カ年のアクションプランを令和4年度に作成したため、このアクションプランに基づいて事業展開を図っていく。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>令和4年度から実施したトレイルランで、引き続き幅広い地域や年代の方が自然に興味を持って触れ合うことが出来る機会を醸成するとともに、トレイルラン以外でも森林や自然に関心を持っていただける機会の醸成や情報発信を行う。</p>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	環境基本計画推進事業			事業コード	520113						
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち		政策目標	3 自然と共生する地域空間の形成						
	施策名	1 豊かな自然環境の保全と活用		施策コード	231						
事業担当	所属	25080000 産業政策部 エネルギー・環境戦略課		所属長	山田 信義						
会計情報	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	05 環境保全費	会計	01 一般会計	決算附属資料	168	頁
計画期間	開始年度	平成16年度	終了予定年度	令和4年度	関連計画名	第2期福知山市環境基本計画		R5現在の状況	他事業へ統合		
根拠法令等	環境基本法										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	地域貢献型エネルギー推進事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	市民一人ひとりが環境問題を身近に捉え、再生可能エネルギーの普及を通して、温室効果ガスの排出削減に取り組むための指針を示すとともに、環境問題や自然との共生を自分事として捉える機運の醸成を図り、次世代に誇れる環境に配慮したまちづくりの実現をめざす。										
対象者	市民	対象者数	75,471	単位あたりコスト	0.4						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	福知山環境会議、株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所										
事業概要 (箇条書き)	・地球温暖化対策実行計画(区域施策編)を包含した新たな環境基本計画「福知山市エネルギー・環境基本計画」の策定 ・福知山環境会議と協働した第2期福知山市環境基本計画に掲げるリーディングプロジェクトの実施 (主要プロジェクト)みどりのカーテン実施率日本一/由良川・里山/生きもの調査/サケの飼育と採捕・放流/ごみの減量と生ごみの堆肥化による資源の有効利用 ・福知山市附属機関設置条例に定める福知山市環境審議会の運営 ※令和5年度新規事業「ゼロカーボンシティ推進事業」に統合										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)	主な業務内容								
	報酬	304	福知山市環境審議会委員委員報酬								
	報償費	24	公募型プロポーザル候補者選定会議における外部有識者報酬								
	旅費	70	福知山市環境審議会委員等実費弁償								
	委託料	14,696	「福知山市エネルギー・環境基本計画」策定業務								
負担金補助及び交付金	588	環境基本計画推進事業交付金									

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	588	15,908	0	0					
	② 補正予算	0	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0	0					
小計(①～③)	588	15,908	0	0						
予算財源内訳	① 一般財源	331	614	0	0					
	② 国支出金	0	15,000	0	0					
	③ 府支出金	257	294	0	0					
	④ 地方債	0	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	0	△ 16	0	0					
	② 配当予算	588	15,892	0	0					
	③ 執行額	588	15,682	0	0					
	④ 執行率	100.0%	98.7%	0.0%	0.0%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.37 / 0.00	1.97 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00					
	② 概算人件費	2,960	15,760	0	0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	3,548	31,442	0	0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	エネルギー構造高度化・転換理解促進事業補助金	種類	衛生費国庫補助金	実績金額	14,696	18	決算附属資料	28	頁
		環境基本計画推進事業(きょうと地域連携交付金)		衛生費府補助金		267				

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標	
		プロジェクト活動参加人数	人	1091 / 3200	866 / 3300	1462 / 1000	/ 1500	3300
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標	
		プロジェクト活動実施回数	回	94 / 100	40 / 100	43 / 50	/ 50	50
		単位あたりコスト		6.6	14.7	364.7		
		単位あたりコスト		/	7 /	/	/	環境基本計画推進事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 脱炭素社会の構築や自然環境の保全、資源循環型社会の形成、快適な生活環境の保全などの環境行政の基本的な指針を示す重要な計画である「福知山市エネルギー・環境基本計画」を、環境審議会による審議やパブリックコメントを実施しうえで策定した。 環境保全に係る啓発活動の中心となる事業で市民団体によるボランティア的な活動であり、行政と協働での実施を原則としている。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 「福知山市エネルギー・環境基本計画」の策定において、専門的な知識や手法、着想による様々な提案の必要性を考え、公募型プロポーザル方式によりもっとも選定評価の高かった業者を選定した。 市民・団体・事業者等で構成される福知山環境会議が自主的に活動に取り組んでおり効率性は高い。また、環境保全活動や地球温暖化防止活動を推進する団体を支援することで、市民や事業者等の環境保全意識を高めることにつながっている。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 市内の様々な団体、事業者、教育機関などと連携や交流を行いながら環境保全活動を積極的に実施しており、環境保全に関する市民等の意識向上につながっている。 水生生物調査やみどりのカーテン植え付け授業、福知山公立大学の学生等が参加するイベントの開催により、環境活動に参画する人材の育成につながっている。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 環境問題は世界的な規模で大きな危機感をもって取り組まれている喫緊の課題となっており、環境の保全と共生、エネルギーに関する施策について総合的かつ計画的な推進を図るために、本市の総合的な市政運営の指針である「まちづくり構想 福知山」や持続可能な開発目標(SDGs)、国の第5次環境基本計画等の方針を踏まえた、新たな環境施策の指針となる「福知山市エネルギー・環境基本計画」の策定を完了し、本計画に基づき目標達成に向けた取組を推進していく。 継続して環境保全活動に協働で取り組むことで市民や事業者等の環境保全意識をさらに高め、環境保全活動の活性化に努める。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 「福知山市エネルギー・環境基本計画」の目標達成に向けて、課題を整理し各関係機関との連携を強化しながら、計画に基づいた取組を進める。 環境保全に関する普及啓発や地球温暖化防止活動の推進を積極的に行っている団体を継続して支援する。また、脱炭素先行地域づくりや脱炭素化促進区域の設定の検討の中でつながる事業者等と連携した活動を展開するとともに、新たな推進体制を構築し環境保全意識の向上を図る。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	令和5年度よりゼロカーボンシティ推進事業に統合。 2050年ゼロカーボンシティ実現に向け福知山市エネルギー・環境基本計画の精力的な推進を図るため、地域貢献型エネルギー推進事業と統合し、関係する連携体の構築やプラットフォームを具体化する事業実施主体の形成など推進体制づくりに取り組む。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	都市計画費一般管理事業			事業コード	510201						
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生き、次世代につないでいくまち		政策目標	3 自然と共生する地域空間の形成						
	施策名	1 豊かな自然環境の保全と活用		施策コード	231						
事業担当	所属	35050000 建設交通部 都市・交通課		所属長	芦田 裕人						
会計情報	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	01 都市計画総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	210	頁
計画期間	開始年度	昭和30年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	R5現在の状況			継続中		
根拠法令等											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	本市の地域特性を活かし、まちづくりの基本的な課題の解決を図るため、将来を見据えた都市計画を定めて、秩序ある土地利用を促進するとともに、円滑な都市活動を支える都市施設の整備を推進し、都市計画マスタープランにまちの将来像として掲げる「安心して暮らせる、しなやかに強靱な都市」の実現をめざす。										
対象者	市民	対象者数	77,000	単位あたりコスト	1.0						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	アジア航測株式会社京都支店、石原自治会、全国街路事業促進協議会、近畿地方都市美観協議会研究会、福知山市景観審議会 ほか										
事業概要 (簡条書き)	・予算や決算及び議会関連に関する人件費 ・屋外広告物許可、各種届出に係る費用 ・区画整理証明の費用 ・委任工事設計、監督に係る人件費 ・都市計画審議会及び景観審議会開催に係る人件費 ・都市計画図の修正、印刷に係る費用 ・職員の事務作業及び能力向上に係る費用 など ○主な利用特財(下記以外) 都市計画関係証明手数料 / 土木手数料 / 5千円 / 16頁、都市計画図書 / 物品売払収入 / 57千円 / 36頁、 原稿料(都市・交通課) / 雑入 / 10千円 / 48頁										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)	主な業務内容								
	報酬	1,655	都市計画審議会委員報酬、臨時職員報酬								
	旅費	265	事務打合せ、研修等旅費								
	需用費	1,291	事務用品、書籍等購入、ガソリン代 ほか								
	役務費	325	郵送料、電信・電話料、車検整備								
委託料 ほか	3,591	都市計画図修正業務、JR石原駅自転車等駐輪場の清掃管理業務 ほか									

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	8,669	7,382	7,706	4,591			
	② 補正予算	0	0	0	0			
	③ 繰越予算	0	0	0	0			
	前年度繰越	0	0	0				
	次年度繰越	0	0					
小計(①~③)	8,669	7,382	7,706	4,591				
予算財源内訳	① 一般財源	7,564	6,492	6,750	3,452			
	② 国支出金	0	0	0	0			
	③ 府支出金	79	62	139	0			
	④ 地方債	0	0	0	0			
	⑤ その他特財	1,026	828	817	1,139			
決算情報	① 流充用額	245	1,784					
	② 配当予算	8,914	9,166					
	③ 執行額	7,156	7,127					
	④ 執行率	80.3%	77.8%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	6.47 / 0.15	8.24 / 1.15	/	/			
	② 概算人件費	52,135	68,795					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	59,291	75,922						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	屋外広告物許可申請手数料	種類	土木手数料	実績金額	829	16	頁
		区画整理成果証明手数料		土木手数料	106	16		
		土地利用規制対策費交付金		土木費府補助金	73	30		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	定性的評価		0 / 0	0 / 0	/ 0	/	0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	研修参加回数	回	4 / 12	6 / 12	16 / 13	/ 11	0
	単位あたりコスト		747.0	1192.7	445.4		
	都市計画審議会開催回数	回	1 / 3	2 / 2	1 / 2	/	都市計画費一般管理事業
単位あたりコスト		2988.0	3578.0	7127.0			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 主に事務的経費に係る予算であり、恒常的に必要な経費である。 都市計画審議会の開催や関係法令の規定に基づく手続き等の適正な運用を図ることで、環境や地域資源を生かした魅力ある都市空間の形成を推進する。 	<input type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関等との会議は、ウェブ会議を積極的に活用し事務の効率化に努めた。 建築確認事前協議手続きのオンライン対応を開始した。 	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 事業の目的・目標を達成するため、職員の積極的な研修参加を推進し、専門性や能力の向上を図る。 関係法令の規定に基づく届出や許可等の手続き事務が適切な運用のもと着実に実施されることで計画的な土地利用が推進される。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画審議会等の経費や事務用消耗品が大半を占める本予算事業は、恒常的に欠かすことのできない事業であり、今後も継続的な運営が望まれる。 限られた予算や時間を有効に活用するため、リモートによる会議や研修を積極的に活用した。 市民サービスの向上をめざし、建築確認事前協議手続きのオンライン対応を開始した。 引き続き、各種手続きのオンライン対応を推進するとともに、都市計画情報等のオープンデータ化を見据えた整備を検討する。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画図は、今後も計画的な修正に努める。また、市民のニーズに対応した効果的な情報提供方法を確立するため、3Dデータの整備や都市計画情報等のオープンデータ化について検討を進める。 関係法令の規定に基づく届出や許可申請等の手続きのオンライン化に積極的に対応する。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--